

現行計画評価検証シート

調査の目的

第2次磐田市スポーツ推進計画を策定するため、「磐田市スポーツ推進計画（中間見直し）」に掲載している各施策の進捗状況や課題について把握するとともに、令和8年度以降の方針を調査することを目的として実施しました。

総 括

●各施策の達成状況について、A～Cの3項目で評価を行いました。

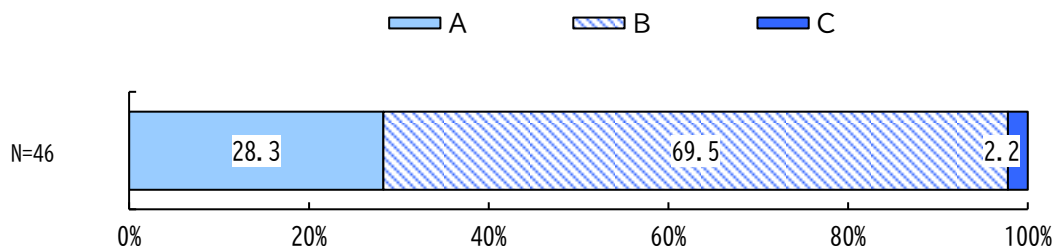
A：想定以上の成果 B：想定通りの成果 C：想定を下回る成果

達成状況は、全取組計画数46件のうち「A」が13件で全体の28.3%となり、「B」が32件で69.5%、「C」が1件で2.2%となっています。

●C：想定を下回る成果

・Ⅲ-2②大学やスポーツ団体・企業等の保有するスポーツ施設の活用の検討
→公共の社会体育施設に限らず人口に応じた場の提供や施設の再編整備の検討をしていく。

基本方針		達成状況			
		合計	A	B	C
Ⅰ 子どものスポーツ 機会の充実	件	11	5	6	0
	%	100.0	45.5	54.5	0.0
Ⅱ ライフステージに 応じ誰もがスポーツ を親しむ機会の創設	件	12	3	9	0
	%	100.0	25.0	75.0	0.0
Ⅲ スポーツ環境の基盤 となる「人」と「場」 の充実	件	11	2	8	1
	%	100.0	18.2	72.8	9.0
Ⅳ トップレベルの スポーツを体感する 機会の充実	件	7	2	5	0
	%	100.0	28.6	71.4	0.0
Ⅴ 新たな時代に対応した 施策等の実施	件	5	1	4	0
	%	100.0	20.0	80.0	0.0
合計	件	46	13	32	1
	%	100.0	28.3	69.5	2.2

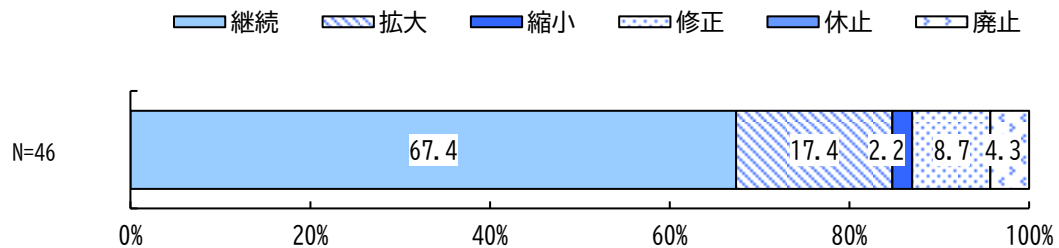


●各施策の今後の方向性について、6項目で評価を行いました。

継続 | 拡大 | 縮小 | 修正 | 休止 | 廃止

今後の方向性は、全取組計画数46件のうち「継続」が31件で全体の67.4%となり、「拡大」が8件で17.4%、「縮小」が1件で2.2%、「修正」が4件で8.7%、「廃止」が2件で4.3%となっています。

基本方針		今後の方向性						
		合計	継続	拡大	縮小	修正	休止	廃止
Ⅰ 子どものスポーツ 機会の充実	件	11	8	1	1	1	0	0
	%	100.0	72.7	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0
Ⅱ ライフステージに 応じ誰もがスポーツ を親しむ機会の創設	件	12	7	3	0	2	0	0
	%	100.0	58.3	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0
Ⅲ スポーツ環境の基盤 となる「人」と「場」 の充実	件	11	9	2	0	0	0	0
	%	100.0	81.9	18.1	0.0	0.0	0.0	0.0
Ⅳ トップレベルの スポーツを体感する 機会の充実	件	7	6	1	0	0	0	0
	%	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
Ⅴ 新たな時代に対応 した施策等の実施	件	5	1	1	0	1	0	2
	%	100.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0
合計	件	46	31	8	1	4	0	2
	%	100.0	67.4	17.4	2.2	8.7	0.0	4.3



主な取組と課題まとめ

現行計画の状況

基本目標Ⅰ 子どものスポーツ機会の充実		
推進施策	主な取組	主な課題
(1) 未就学児の運動 機会の充実・運動 習慣や体力の 重要性についての 啓発	・ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと連携した幼児向けの教室を実施しています ・年中児から小学2年生までの親子を対象とした親子ふれあい体育教室を開催しています。 ・静岡産業大学と連携し、市内の公園でできる運動や家庭でできる運動をまとめた冊子を作成し、市内公共施設等へ配布しました。	・各種運動教室の開催について、夏場の熱中症対策や雨天時の振替開催が課題となっています。
(2) 小中学生の運動 機会の充実・体力 向上につながる 事業の推進	・わくわくスポーツ教室、放課後子ども教室、磐田スポーツ部活などを通じて、小中学生のスポーツ機会の充実に取り組んでいます。 ・スポーツに関心をもってもらうため、ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズなどのプロチームと連携し、学校訪問・体験教室を実施しています。	・小学校高学年や中学生を対象とした教室は申込者が少なく、定員を下回る状態となっているため、需要に応じた事業の検討を進めていきます。 ・雨天時、夏場の酷暑下でも実施できる空調設備のある屋内施設の確保が課題となっています。
基本目標Ⅱ ライフステージに応じ誰もがスポーツを親しむ機会の創設		
推進施策	主な取組	主な課題
(1) 成人における スポーツの推進	・ジュビロ磐田メモリアルマラソン大会、いわたスポレク健康フェスティバルなどのスポーツイベント充実に取り組んでいます。 ・運動啓発冊子の作成や、高齢者向けのいきいき百歳体操等を通じて、運動による健康づくりを推進しています。	・参加者が固定化されてしまっているものもあるため、より多くの人に興味・関心をもってもらうための周知や新たな企画が課題となっています。 ・スポーツ実施率が低い子育て・働き世代に対して会社等と連携した取組みの検討が必要となっています。
(2) 障がいのある人の スポーツの推進	・特別支援学校、特別支援学級に通う小学生とその保護者を対象とした「発達支援親子のびのびスポーツ教室」を開催しています。 ・ポッチャ大会や、誰もが参加できるスポーツイベント「みんなの運動会 in IWATA」等を通じて、障がいの有無に関わらず、スポーツを楽しむ機会づくりに取り組んでいます。	・安心して事業に参加してもらえるよう、スポーツ推進委員をはじめ指導者が障がいのある人や障がい者スポーツについて、さらに知識・経験を身につけていく必要があります。 ・誰もがスポーツに取り組めるよう施設のバリアフリー化が求められています。

基本目標Ⅲ スポーツ環境の基盤となる「人」と「場」の充実		
推進施策	主な取組	主な課題
(1) 指導者やボランティアの確保	・スポーツ推進委員を対象とした研修会を定期的に開催しています。 ・指導者向けの講演会を実施し、指導者の育成に取り組んでいます。	・指導者やボランティアの高齢化が進んでいるため、若い世代への周知が課題となっています。
(2) 大学やスポーツ団体等との連携	・静岡産業大学と連携し、運動啓発冊子の作成や市内商業施設でのウォーキングイベント等を実施しました。 ・磐田市スポーツ協会と連携し、ジュビロ磐田メモリアルマラソンなどのイベントを開催しています。	・大学のもつ専門的な知見を取り入れていけるよう連携を図っていきます。 ・参加者増加のため、市外への周知方法の検討や、より魅力的なイベントになるよう改善を続けていくことが求められます。
(3) 施設を安全かつ円滑に使用するための取組	・社会体育施設で指定管理者制度を導入し、サービスの向上を図っています。 ・公共施設予約システムやスマートロックを導入し、「窓口に行かない」体育施設利用の実現に取り組んでいます。	・施設の老朽化が進み、計画に基づく修繕工事に加え、緊急修繕が発生しています。 ・再編整備の検討が必要となっています。
基本目標Ⅳ トップレベルのスポーツを体感する機会の充実		
推進施策	主な取組	主な課題
(1) トップレベルのスポーツを「みる」機会などの充実	・ジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズの観戦招待事業や一斉観戦事業を実施し、市内に本拠地を置くトップチームの試合を観戦する機会の提供に取り組んでいます。 ・ジュビロ磐田の選手が市内全小学校に訪問する「ジュビロ磐田選手会学校訪問」を実施しています。 ・プロアスリートや静岡産業大学の選手など各種スポーツ教室を開催し、トップレベルのスポーツにふれる機会づくりに取り組みました。	・チームやリーグのスケジュール事情により調整が困難になる場合があります。 ・プロスポーツチームのホーム＆ホストタウン活動について、活動そのものを知らない方も多く、いま実施している活動をどのように広げていくか検討が必要です。
(2) スポーツに係る広報活動・情報提供の見直し	・SNSや市役所内の掲示を利用し、市内出身アスリートや本市を拠点として活動するアスリートやチームの活躍を発信しています。	・アスリートやチームと情報共有し、連携して情報を発信していく必要があります。
基本目標Ⅴ 新たな時代に対応した施策等の実施		
推進施策	主な取組	主な課題
(1) コロナ禍におけるスポーツ活動の確保	・新型コロナウイルス感染症影響下でスポーツイベント等を実施する際には、消毒やソーシャルディスタンスの確保等の対策を行いました。 ・ステイホーム中にもできる運動を動画にまとめて配信しました。	・新型コロナウイルス感染症対策で得たノウハウを今後引き継いでいく必要があります。
(2) スポーツ以外の事業を活用したスポーツ施策の推進	・スポーツ観戦を通じた婚活事業や、市内中小企業の交流会でラグビー体験をするなど、他分野とスポーツを融合させたイベントを実施しました。	・各団体間のつながりが希薄で、個々のイベント開催に留まってしまいがちという課題があります。